

令和 4 年度 姫路市 (準基幹) 地域包括支援センター事業計画
(一部抜粋)

(2) 基本目標 2

③ 世代や分野を超えたつながりの構築 (施策 3)

イ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	保健センター、包括支援課とともに、11月頃、圏域内包括すべてとそれぞれ地域課題の抽出を行う。
ロ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	・地域担当が、各会議から抽出した地域課題を取りまとめ、地域マネジメント会議にて検討し、次年度に繋げる。
ハ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	・前年度の地域課題への対応について、12月に進捗状況を確認し、抽出した地域課題を取りまとめ、地域マネジメント会議開催で見えた内容を各包括職員と共有する。 ・R5年度までに医療、介護、生活支援関係者がれんげい手帳を活用できる。
ニ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	地域担当が圏域内包括を訪問し、年1回各地区の地域課題抽出を行う。その後、抽出した地域課題を取りまとめ、地域マネジメント会議開催で見えた内容を、次年度の圏域連絡会多職種交流の場で共有する。

(3) 基本目標 3

① 多様なサービスの活用 (施策 1)

イ包括	ケアマネジメント力向上会議 (準基幹)	開催後のアンケート内容をもとに、参加者の希望する内容を次回以降の会議で話題にできるよう意識する。事例の中で、参加者が「役に立った」と思える情報を拾い、専門委員に解説してもらえるようにする。地域課題の抽出については、多面的な方向から見て検討する。
ロ包括	ケアマネジメント力向上会議 (準基幹)	・地域担当が年7回開催し、地域の居宅・包括のケアマネジャーのケアマネジメント力の向上や、自身のファシリテーション能力の向上を目指す。
ハ包括	ケアマネジメント力向上会議 (準基幹)	・年5回ケアマネジメント力向上会議開催する。 ・事例を通して、ポイントや支援者の必要な視点を明らかにして参加者へ伝え、重度化予防・自立支援を目指した課題解決に向かう思考過程を学ぶ。
ニ包括	ケアマネジメント力向上会議 (準基幹)	前年度同様、様々な事例を多職種で検討することで、専門職が個々に多様な視点を育むことができ、現状の改善課題がどこにあるのか整理することができるような力量をゴール設定とし、全体のアセスメント力向上につなげる。(年5回)

イ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	地域担当が、11月頃に支えあい会議のとりまとめを行い、保健センター、包括支援課と共に各包括と地域課題の共有を行う。12月頃に、圏域内包括連絡会を開催し、保健センター、包括支援課と共に課題について話し合う。
ロ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	・地域担当が、各会議から抽出した地域課題を取りまとめ、地域マネジメント会議にて検討し、次年度に繋げる。
ハ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	・地域担当が、支えあい会議のとりまとめを行い、保健センター、エリア担当と共に各包括と地域課題の共有を行う。 ・圏域内包括連絡会を開催し、保健センター、事業担当と共に課題に向け目標や具体策について話し合う。
ニ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	地域担当が圏域内包括を訪問し、年1回各地区の地域課題抽出を行う。その後、抽出した地域課題を取りまとめ、地域マネジメント会議開催で見えた内容を踏まえ、全職種で課題解決のためのサービス活用を話し合う機会をもつ。

(4) 基本目標 4

① 認知症にやさしい地域づくり (施策 1)

イ 包括	認知症地域支援推進員の活動 (準基幹)	圏域内4ブロック全てのケアマネジャーブロック研修で、認知症初期集中支援事業の啓発を行う。 圏域内包括の認知症担当が、年1回集まり情報交換する機会をつくる。
ロ 包括	認知症地域支援推進員の活動 (準基幹)	・生活支援体制整備事業にて、認知症に対して啓発活動を行う。一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えている中で、今年は介護者支援の重要性についても啓発する。 ・圏域ブロック会議にて、認知症初期集中支援事業等の認知症施策や制度について啓発を行う。 ・認知症担当と協力して、●●保健センター圏域の認知症対策検討会議にて、圏域包括の認知症担当と情報交換や課題検討を行い、地域づくりに繋げる。
ハ 包括	認知症地域支援推進員の活動 (準基幹)	・認知症に関する医療・介護等の資源情報をまとめ、各地域包括の認知症担当と情報交換を行う。 ・ケアマネブロック研修で、認知症初期集中支援事業の利用啓発を行う。 ・認知症見守り・SOSネットワーク事業の説明を事業所に行い協力依頼を行う。
ニ 包括	認知症地域支援推進員の活動 (準基幹)	認知症地域支援推進員は、毎月1か所の地域の通いの場へ参加し、適時相談対応を行いながら、認知症に関する研修等を企画し、地域づくりにつなげる。●●圏域連絡会の場を活用し、認知症担当が意見交換できる機会を設ける。

(2) 基本目標 2

③ 世代や分野を超えたつながりの構築 (施策 3)

イ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	保健センターとともに、12月圏域内包括すべてと地域課題の抽出を行った。
ロ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	・地域担当が、各会議から抽出した地域課題を取りまとめ、地域マネジメント会議にて検討した。
ハ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	ブロック研修が、前年度の地域課題の解決に向けて活かされているのか確認し、共有した。れんけい手帳を用いて、連携を強化した。
ニ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	地域支えあい会議、CM力向上会議等から地域課題を抽出し、圏域の各包括と共有することができた。年1回の地域マネジメント会議の開催を行うことで、圏域内の他地域の情報も互いに共有することが出来ている。

(3) 基本目標 3

① 多様なサービスの活用 (施策 1)

イ包括	ケアマネジメント力向上会議 (準基幹)	コロナ禍により途中よりwebを併用し予定通り開催を行うことができた。
ロ包括	ケアマネジメント力向上会議 (準基幹)	・地域担当が年7回開催し、地域の居宅・包括のケアマネジャーのケアマネジメント力の向上や地域課題の抽出を目標に実施した。 ・居宅ケアマネジャーや専門委員など、関係各所と連携することでネットワーク構築に繋がった。また、会議の司会進行を努めることで、自身のファシリテーション能力の向上に繋がった。
ハ包括	ケアマネジメント力向上会議 (準基幹)	年5回開催し、事例を通して、専門委員からの助言をもらい、重度化予防・自立支援を目指した課題解決に向かう思考過程を伝えられる会議にした。
ニ包括	ケアマネジメント力向上会議 (準基幹)	年間5回実施。経験の浅いCMにも分かりやすく、様々な事例から即実践で活かせる内容でまとめることができた。繰り返し行うことで、CMのアセスメント力向上に繋げることができている。

イ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	11月に地域担当が、支えあい会議のとりまとめを行い、保健センター、エリア担当、社協と共に各包括と地域課題の共有を行った。12月中旬に圏域内包括連絡会を開催し、保健センターと共に課題共有を行った。
ロ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	・地域担当が、各会議から抽出した地域課題を取りまとめ、地域マネジメント会議にて検討した。
ハ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	年1回開催し、地域課題を整理、分類をする中で、地域の通いの場を報告し、活動の必要性を共有した。
ニ包括	地域マネジメント会議の開催 (準基幹)	各圏域エリア内包括と地域の特徴や課題共有を行い、地域課題抽出を行った。地域マネジメント会議実施。

(4) 基本目標 4

① 認知症にやさしい地域づくり（施策1）

イ 包括	認知症地域支援推進員の活動（準基幹）	圏域内4ブロックすべてのケアマネジャーブロック研修で、認知症初期集中支援事業の利用啓発を行った。認知症見守り・SOSネットワーク事業の説明を事業所に行い協力依頼を行った。圏域内包括の認知症担当と、情報交換の機会設定の検討を行った。
ロ 包括	認知症地域支援推進員の活動（準基幹）	・地域担当が、担当圏域で実施の生活支援体制検討会議にて認知症に関する啓発活動を行った。 ・認知症担当と協力して、●保健センター圏域の認知症対策検討会議にて、圏域包括の認知症担当と情報交換や課題検討を行った。
ハ 包括	認知症地域支援推進員の活動（準基幹）	ケアマネブロック研修、民生委員定例会にて認知症初期集中支援事業を説明した。●●公民館講座、●●地区の地域活動参加時に認知症になっても安心して暮らせるまちへの普及啓発グッズを配付した。
ニ 包括	認知症地域支援推進員の活動（準基幹）	●●圏域連絡会において、認知症担当・主任ケアマネジャーと連携し、認知症の方の支援について検討した。